

令和元年第3回町議会定例会

本会議の審議の結果は次のとおりです。



議案等表決結果一覧表

◆全会一致で可決、承認した議案

議案番号	件名	議決の結果
承認第8号	専決処分第4号の承認を求めることについて(愛南町廃棄物の適正処理及び清掃等に関する条例の一部を改正する条例)	原案承認
第42号議案	愛南町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案可決
第43号議案	愛南町税条例の一部改正について	原案可決
第44号議案	愛南町水道事業給水条例の一部改正について	原案可決
第45号議案	愛南町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決
第46号議案	愛南町手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
第47号議案	愛南町立あいなん幼稚園条例の一部改正について	原案可決
第48号議案	愛南町漁港管理条例の一部改正について	原案可決
第49号議案	R元網代漁港漁村再生交付金工事請負契約について	原案可決
第50号議案	R元魚神山漁港海岸保全施設整備工事請負契約について	原案可決
第51号議案	R元国道整第1号町道平山北線道路改良工事請負契約について	原案可決
第52号議案	公用車(あいなんバス)購入契約について	原案可決
認定第1号	平成30年度愛南町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
認定第2～9号	平成30年度愛南町特別会計歳入歳出決算の認定について(8件)	原案認定
認定第10～11号	平成30年度愛南町事業会計決算の認定について(2件)	原案認定
第53号議案	令和元年度愛南町一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
第54号議案	令和元年度愛南町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
第55号議案	令和元年度愛南町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
第56号議案	令和元年度愛南町病院事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
諮問第2～3号	人権擁護委員候補者の推薦について(2件)	原案適任
同意第2～6号	愛南町固定資産評価審査委員会委員の選任について(5件)	原案同意

- ※ 発議第2号 吉村議員に対する議員辞職勧告について賛成多数で可決しました。
- ※ 諮問第2～3号により、人権擁護委員候補者に吉田公己氏、荒谷栄次氏を推薦することについて適任と決定しました。
- ※ 同意第2～6号により、固定資産評価審査委員会委員に金田孝一氏、坂尾英治氏、中川治雄氏、小川正氏、坂井宏光氏を選任することに同意しました。
- ※ 発議第3号 処分要求について、「山下正敏議員、西口孝議員、宮下一郎議員、山下太三議員、佐々木史仁議員、原田達也議員、鷹野正志議員に戒告の懲罰を科すべき」とする懲罰特別委員会の報告について採決した結果、賛成少数で否決しました。

一般質問 4名の議員が一般質問を行いました。

議員氏名	質問事項
 鷹野 ^{まさし} 正志	①通学路を含めた学校における子供の安全確保の取組みについて ②2020年度、小学校における「新学習指導要領」の全面实施に向けての町の対応について
 金繁 ^{のりこ} 典子	①愛南町の天然記念物指定区域における無許可工事の原因と、今後の対策等について ②非正規職員の処遇改善、男性職員の育児休暇取得と、男女共同参画に関する行動計画、庁内の推進体制について ③予算の公開と住民参加について
 土居 ^{なおゆき} 尚行	①庁内でのワンストップサービスの実現はいつか ②愛南町の人口減少問題をどのように捉えているか
 西口 ^{たかし} 孝	①消費税10%の値上げに伴う町民・町財政への影響と対策について ②加齢に伴う病に対する公的支援を求める事について

詳しくは、次回定例会までに町ホームページに公開予定の会議録によりご確認ください。なお、令和元年第2回定例会から議会のインターネット中継を開始しています。町ホームページから専用サイト(愛媛CATV)にアクセスして録画中継をご覧ください。



愛媛CATV
ホームページ

総務文教常任委員会所管事務調査報告①

【防災(減災)に関する調査研究】

防災(減災)について、机上審査のうえ、平成30年7月豪雨災害の被災地である宇和島市役所を視察し取りまとめた結果を、佐々木史仁^{ふみひと}委員長が報告しました。

【調査結果(概要)】

総務文教常任委員会では、災害時における議会対応の在り方や、愛南町防災対策関連事業のより一層の充実・強化を図るため、調査結果を取りまとめました。

昨年7月の豪雨災害において甚大な被害が出た宇和島市の状況を調査し、執行部はもとより、議会や関係団体の連携等、災害への備えが大切であることを改めて痛感しました。

災害時の活動組織として自主防災組織が挙げられますが、宇和島市では災害時に機能しなかったケースが多かったことから、形式的な訓練ではなくリアリティのある訓練に努めるべきだと考えます。

災害ボランティアについては、社会福祉協議会が運営するボランティア組織と民間が運営するボランティア組織との違いについて住民の理解を得るとともに運用指針を作成すべきだと考えます。また、本町においては災害ボランティア受け入れの経験がないため、今後、さまざまなケースを想定した訓練の必要性を感じました。

議員が災害時に行うボランティア活動等は、個別に行うのではなく、議会としてとるべき対応を明確にするための要綱や指針等を早急に整備する必要があると考えます。また、今後の課題として、「防災対策等検討特別委員会(仮称)」の設置を検討すべきだと考えます。なお、本町における防災体制の現状を検証すべきではないかとの意見もありました。

その他に、地理的要因を考慮し、雨量情報等について各地域単位できめ細かな情報を入手できるように環境整備をすべきとの意見や、災害井戸の登録等、断水時の水の確保についても検討すべきとの意見もありました。



総務文教常任委員会所管事務調査報告②

【愛南町の将来ビジョンにおける学校教育施設の在り方について】

愛南町の将来ビジョンにおける学校教育施設の在り方について、机上審査のうえ、四万十市役所を視察し取りまとめた結果を、佐々木史仁^{ふみひと}委員長が報告しました。

【調査結果(概要)】

総務文教常任委員会では、今後の愛南町の人口ビジョンをもとに、小中学校のあるべき姿を検証し、それぞれの地域の实情に応じた最適な学校教育環境の実現を図るため、調査結果を取りまとめました。

本来、児童生徒が、集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいと考えますが、本町においては極小規模校が多く、最適な学校教育環境とは言い難い状況となっています。

今回視察した四万十市では、学校再編に取り組むにあたり、行政の立場、保護者の立場、地域の感情等さまざまな意見があった中、何より「子どもの将来を考える視点」に立って説明した結果、多くの地域で理解を得たとのことでした。このことは、本町においても今後の再編に係る取組みの参考とすべきと考えます。

学校規模の適正化については、さまざまな要素が絡む困難な課題ですが、あくまでも児童生徒の教育条件改善の観点から、学校教育の目的や目標をより良く実現するために行なうべきだと考えます。学校の統廃合の適否については、具体的にどのような教育上の課題があるのか総合的な観点から分析を行い、保護者や地域住民と共通理解を図っていくべきとの意見がありました。それと同時に、学校施設は各地域のコミュニティの核であり、防災・保育・地域の交流の場としての機能も併せ持っていることから、行政が一方向的に進めるのではなく、児童生徒の保護者や、将来の受益者である就学前の子どもの保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得る必要があると考えます。



産業厚生常任委員会所管事務調査報告

【再生可能エネルギーについて】

再生可能エネルギーについて、机上審査のうえ、風力発電、小水力発電及び営農型太陽光発電の発電施設を現地視察し取りまとめた結果を、鷹野正志^{まさし}委員長が報告しました。

【調査結果(概要)】

産業厚生常任委員会では、本町における再生可能エネルギーの現状と今後の活用について、調査結果を取りまとめました。

今回、愛南町での再生可能エネルギー事業の取組み事例として、まず初めに、昨年度末に設置工事が完了し、今年4月から四国電力への売電を開始した「僧都ウィンドシステム」を、次に大久保山土地改良区がエネルギーの有効利用を図るとともに維持管理費へ売電収入を充当することにより負担軽減を図る等の目的で設置した小水力発電、最後に、営農を継続しながら上部空間に太陽光発電設備を設置する方式の営農型太陽光発電設備の現地視察を行いました。

風力発電については、ブレードから出る風切り音や低周波に対する地元住民の声を聞き、事業所が適切な対応をとるよう所管課を通じて指導・助言すべきとの意見のほか、耐用年数終了後の対応について透明性を図ってもらいたいとの意見もありました。

営農型太陽光発電施設については、変電所の騒音等、周辺環境に配慮することは当然のこと、とても営農とは言い難い現状であるため、今後は日陰に強い作物を検討すべきではないかとの意見がありました。また、今回視察した施設は交通量の多い道路には面していませんでしたが、太陽光パネルの反射が通行車両等周辺に悪影響を及ぼすことも懸念されることから、設置に際しては十分な配慮が必要との意見もありました。

今回視察した太陽光、風力および水力といった再生可能エネルギーは、発電量が季節や天候に左右される上、エネルギー密度が低いいため大きな施設が必要で、周辺住民や自然環境に与える影響も多大です。それらに配慮した指針等を早急に確立すべきだと考えます。

当委員会としては、今後も引き続き住民目線に立ち、その動向を注視していく必要があると考えます。



【小水力発電施設視察風景】

9/20

議会活性化研修会を開催しました

議会活性化特別委員会では、山梨学院大学教授の江藤俊昭としあき氏を講師に招き、「議員報酬・定数等について」、「質問のあり方について」の2題をテーマに研修会を開催しました。

当委員会では、現在、町議会における適正な議員定数、議員報酬および手当等について調査・研究を進めております。今回の講演内容を参考に、今後、さらに議論を深め結論を出していく予定です。



7/25

吉村直城なおき議員に感謝状

松山市で開催された「愛媛県町村議会議長会創立70周年記念議員研修大会」において、吉村直城なおき議員が、愛媛県町村議会議長会第45代会長として地方自治の振興に寄与した功績に対する感謝状の贈呈を受けました。



マチヤクバ便り

町の施策・情報をお伝えします。

お知らせ 「宝くじ助成事業」で牛鬼等を整備しました

(一財)自治総合センターの「コミュニティ助成事業」の補助を受け、御荘秋祭りで使用される貝塚地区の牛鬼等が新調されました。

この事業は、「宝くじの普及広報事業」として自治総合センターが受け入れた宝くじ収益金を財源として、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指すもので、コミュニティ活動に直接必要な施設または設備の整備を行っています。

問：総務課 電話：72-1211



お知らせ カーシェアリングサービスをご利用ください

町では、ネットヨタ瀬戸内株式会社の協力により、4月からカーシェアリングサービスを運用しています。

このサービスは、自動車を複数の個人および法人で共有し、お互いが利用する仕組みです。町民の皆さまの町内外での移動手段はもちろん、観光客の方も観光時の移動手段としてご活用できます。

利用方法など、詳しくは町ホームページをご覧ください。



愛南町
ホーム
ページ

問：ためしてカーシェアリングコールセンター(無料・24時間年中無休)
電話：0120-600-215
総務課 電話：72-1211